

観光は、釧路外環状道路釧路別保インターチェンジの供用開始や、釧路港へのクルーズ客船の寄港、釧路と関西を結ぶ格安航空会社による定期便の運行など、『陸』、『海』、『空』の交通手段の利便性向上により釧路地域における観光客の増加が期待できる環境が整ってきています。

本町の観光入込客数は、隣接する釧路町、浜中町や町内産業経済団体と連携した道内外でのプロモーション、厚岸町公式キャラクター『うみえもん』を活用した観光・物産イベントでの積極的な情報発信などが功を奏し、春の『桜・牡蠣まつり』、初夏の『あやめまつり』、秋の『牡蠣まつり』を合わせ、飛躍的に増加した近年の入込客数を維持しており、町内経済に少なからず寄与しているも



のと考えています。

本年度、一層の誘客を図るため、関係機関との連携を強化し、道内外での観光プロモーションやさまざまな情報媒体の活用により、本町の魅力である食と自然景観などの旬な話題を発信し、基幹産業である漁業や農業とも連携した観光産業の振興を進めるほか、『厚岸ウイスキー』を活用した町の魅力発信に取り組みます。

また、地域おこし協力隊員による厚岸観光の新展開と桜の町並みを再生させる取り組みを進めます。

厚岸道立自然公園の国定公園化は、昨年5月に町内における関係団体との合意が整い、12月に釧路町、厚岸町、浜中町の関係機関で組織する厚岸道立自然公園国定公園化促進期成会の構成員24人により、北海道知事ならびに環境省北海道地方自然環境事務所長に対し国定公園早期指定について、24年ぶりとなる要請活動を行いました。国定公園申請者となる北海道知事から、速やかに国への指定申し出を行うとの回答をいただき、大きく前進したところであり、引き続き関係機関と連携し取り組みます。厚岸味覚ターミナル・コンキリエは、総合観光雑誌『北海道じゃらん』の道の駅ランキング・食事メニュー部門で、全道119駅ある中、8年連続1位を獲得するなど、本町の観光中核拠点施設としての役割を果た



してきました。平成30年度は、北海道胆振東部地震の影響により入館者は前年度を下回る見込みですが、『グランドオープンした『オイスターバー』の効果などにより、売上げは過去最高だった前年度を上回る見込みです。

本年度は、増加傾向にあるオートバイの駐輪スペースの整備、入館者への観光案内の充実を図るための観光案内コーナーの整備、1階のオイスターカフェの改修による食の提供ブースの拡充を図り、地場食材を使用した新たなメニュー開発も進めています。

また、道外客の参加が半数以上である厚岸蒸溜所見学ツアーや既存の体験観光の充実を図るほか、厚岸な

らではの新たな体験観光メニューの開発に努めます。

雇用は、依然として労働力不足を解消できない事業所が少なくないことから、町ホームページなどによる町内の求人情報の一元化、ハローワークと連携した求職・求人情報の提供サービスを継続し、町内での就業を促進するとともに、町内の高校、各産業経済団体などで構成する厚岸町雇用対策連絡会議を通じ、町内の各企業、団体と新規採用など雇用対策に関する情報の共有に努めます。

やさしさあふれ健やかに 安心して暮らせるまちづくり

子ども・子育て支援は、厚岸町の明るい未来のために、今、最大限の取り組みが必要になっており、引き続き重点施策の一つとして、本町の宝である子どもを安心して産み育てられるまちづくりを推進します。

真竜保育所と宮園保育所を統合する仮称・湖北地区保育所は、2020年7月の開所に向けた建設工事に着手します。また、厚岸保育所の移転改築も、建設用地の買収と用地造成工事を行い、安全・安心な施設整備に取り組みます。

国が10月の消費税率の引き上げに合わせて実施を予定している幼児教育の無償化は、国が対象とする3歳から5歳までの全ての子どもと0歳